4 公園と歩道空間の整備

施策の方向

都市公園全体として、トータルコスト軽減のために、利用頻度が少ない施設の統廃合や官民連携による運営を検討します。豪雨災害の被災者対策として、多くの公園が建設型応急住宅の整備箇所として利用されておりますが、今後応急住宅の解体が決まった公園については現状復旧を速やかに行い、公園としての機能回復に努めます。中川原公園については、災害復旧を進めながら、球磨川両岸を繋ぎ人が集う憩いの場としての整備を図ります。

また、被災市街地復興推進地域に指定して土地区画整理事業を進めている青井、中心市街地地区においても公園の適正配置を行い、災害時の拠点や避難場所等として整備します。

村山公園については、高台という特性を生かし、自動車等による避難場所としての機能を付加するなど防災面での拡充を行います。

石野公園は、道の駅効果により入園者が増加傾向にあり、キャンプ場の利用者も増えているため、滞在型の公園として施設の拡充や以前からの課題であった民間と行政が連携して行う PPP 事業や PFI 事業の導入を検討し、コスト削減や効率化を図りながらさらなる魅力向上に努めます。

街路樹については、将来の維持管理も考慮し、全路線において高木から中木･低木化へ樹種転換等を進め、安全･安心な歩道を整備し歩道空間の確保を図ります。

成果指標（KPI）

成果指標	実績値（令和５年度）	達成状況	目標値（令和９年度）
都市公園施設改築事業進捗状況（整備率）	３６％	△	４６％ (※①)
街路樹樹種転換事業進捗状況（進捗率）	２５％	△	３７％ (※②)

（※①）都市公園施設 83 施設／182 施設

（※②）街路樹 281 本／749 本

主要な事務事業

(1)石野公園再活性化事業

(2)都市公園施設改築事業

(3)街路樹樹種転換事業

戦略名	戦略5　都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(4)公園と歩道空間の整備	

事務事業名	石野公園再活性化事業		担当課	都市計画課
事務事業概要	人吉クラフトパーク石野公園魅力化構想に基づく再活性化事業			
主な取組内容 Plan	既存	PPP研修への職員の参加	既存	EMBAのフィールド研究
	既存	石野公園官民連携事業調査業務		

事務事業実績

成果指標	目標値	令和5年度 実績値	令和6年度 目標値
都市公園施設改築事業進捗状況（整備率）	46%	36%	36%

事業財源 Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	0	千円	0	千円
	事業費	0	千円	0	千円

評価

事務事業評価

成果・課題 Check	
	（取組成果） 官民連携事業調査業務による事業者に対するサウンディングや、EMBAのフィールド研究等により、石野公園の再活性化について民間の意見や提案を受けることでさまざまな情報を得ることができた。 また、職員が研修等へ参加し今後PPPの検討を行う上での知識を向上することができた。
	（今後の課題） 石野公園の再活性化に向けて、関係する商工観光課と連携しながら進めていく。

改善内容 Action	事業の方向性	資源配分	
	現状維持	財源	現状維持
		人員	現状維持

改善　　方向性

実施計画

成果指標	令和7年度 目標値	令和8年度 目標値	令和9年度 目標値
都市公園施設改築事業進捗状況（整備率）	39%	42%	46%

事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	0	千円	0	千円	0	千円
	事業費	0	千円	0	千円	0	千円

総合戦略	魅力的な生活圏の形成	
市長マニフェスト	石野公園の活性化を促進します。 ・建設型仮設住宅を活用した滞在型公園施設の整備を行います。 ・農産物直売所の拡充を行います。儲かる農業を後押しします。 ・ドッグラン等の設置を行います。	

戦略名	戦略5　都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(4)公園と歩道空間の整備	

事務事業名	都市公園施設改築事業	担当課	都市計画課
事務事業概要	都市公園の修景施設の改築・更新を行う事業、公園の高木を転換、伐採・剪定する事業		
主な取組内容 Plan	既存　都市公園施設改築事業		

事務事業実績

成果指標	目標値	令和5年度 実績値	令和6年度 目標値
都市公園施設改築事業進捗状況（整備率）	46%	36%	36%

事業財源 Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	16,399	千円	15,000	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	16,399	千円	15,000	千円
	事業費	32,798	千円	30,000	千円

評価

事務事業評価

成果・課題 Check	（取組成果）
	都市公園の施設を長寿命化計画に基づき改築し、公園利用者の利便性の向上や安全・安心な都市公園管理へとつながった。
	（今後の課題）
	人口減少が進む中、都市公園の整備計画の見直しが必要。

改善内容 Action	都市公園の整備計画の見直し	事業の方向性	資源配分	
		現状維持	財源	現状維持
			人員	現状維持

改善　　方向性

実施計画

成果指標	令和7年度 目標値	令和8年度 目標値	令和9年度 目標値
都市公園施設改築事業進捗状況（整備率）	39%	42%	46%

事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	32,000	千円	35,000	千円	30,500	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	32,000	千円	35,000	千円	30,500	千円
	事業費	64,000	千円	70,000	千円	61,000	千円

総合戦略	魅力的な生活圏の形成	
市長マニフェスト	該当なし	

戦略名	戦略5　都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(4)公園と歩道空間の整備	

事務事業名	街路樹樹種転換事業	担当課	都市計画課
事務事業概要	既存の街路樹の樹種転換を行い、路線ごとに中木・低木の樹種を選定し、安全・安心な歩道を確保し快適な歩道空間を維持する事業		
主な取組内容 Plan	新規　人吉市街路樹樹種転換計画策定		

事務事業実績

成果指標	目標値	令和5年度 実績値	令和6年度 目標値
街路樹樹種転換事業進捗状況(進捗率)	37%	25%	25%

事業財源 Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	635	千円	5,000	千円
	事業費	635	千円	5,000	千円

評価

事務事業評価

成果・課題 Check	(取組成果)
	樹種転換の樹種を決定する前に既存の樹木の伐採を進めている。
	(今後の課題)
	樹種転換の樹木の選定等を含め樹種転換計画を策定し、植樹する樹種を決定していく。

改善内容 Action	事業の方向性	資源配分	
	現状維持	財源	現状維持
		人員	現状維持

改善　方向性

実施計画

成果指標	令和7年度 目標値	令和8年度 目標値	令和9年度 目標値
街路樹樹種転換事業進捗状況(進捗率)	25%	31%	37%

事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	0	千円	12,000	千円	5,000	千円
	事業費	0	千円	12,000	千円	5,000	千円

総合戦略	魅力的な生活圏の形成	災害に強く安心して暮らせる地域の形成
市長マニフェスト	該当なし	

5 未来型復興による魅力的なまちづくり

施策の方向

景観上重要となる施設については景観重要建造物等の指定をし、保存に努めます。

被災市街地復興推進地域に指定した青井地区においては、熊本県施行の土地区画整理事業等の実施により、避難路・緊急輸送道路（国道445号）としての都市計画道路等や一時避難場所となる公園の整備を行い、防災性の向上を図ります。併せて宅地の造成および適切な公共施設の整備改善により、未接道宅地や生活道路等の住環境の改善、賑わい創出のための拠点整備等による宅地の利用増進を図り、被災市街地の復興を図ります。

中心市街地地区においては、紺屋町の一部の地域において土地区画整理事業等により、未接道宅地の解消のため新たな区画道路の整備を図るとともに、一時避難場所となる公園の整備を行います。また、熊本県が管理する山田川の河川改修事業に併せて、沿川の土地活用向上のため地域の防災性・安全性の向上を図るとともに、賑わいを創出するための交流・文化の拠点となる施設等を整備することにより、被災市街地の復興を図ります。

さらには、本市の貴重な地域資源である球磨川の安全性、親水性、周遊性を向上させることにより、河川空間とまち空間が融合した球磨川を生かしたまちづくりを推進します。

成果指標（KPI）

成果指標	実績値（令和５年度）	達成状況	目標値（令和９年度）
景観計画に基づく届出件数	１６９件	△	３５０件
居住人口の市全体に対する割合（青井地区）	１．４％	△	１．６％
居住人口の市全体に対する割合（中心市街地地区）	１．２％	△	１．４％
年間宿泊客数※	１４５，５１５人（令和５年末）	○	２１７,０００人（令和９年末）
年間日帰り客数	８３２，９２３人（令和５年末）	○	１，２８３，０００人（令和９年末）

主要な事務事業

（1）土地区画整理事業　（2）地区計画　（3）都市再生整備計画事業
（4）都市防災総合推進事業　（5）鍛冶屋町通り街なみ環境整備事業

戦略名	戦略5　都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(5)未来型復興による魅力的なまちづくり	

事務事業名	土地区画整理事業	担当課	市街地復興課
事務事業概要	地権者から土地を提供（減歩）してもらい、その土地を道路、公園、河川等の公共施設が増える分に充てることで、整備・改善し、土地の区画を整え宅地の利用の増進を図る事業		
主な取組内容 Plan	既存　紺屋町被災市街地復興土地区画整理事業		

事務事業実績

成果指標	目標値	令和5年度 実績値	令和6年度 目標値
居住人口の市全体に対する割合（中心市街地地区）	1.2%	1.4%	1.4%

事業財源 Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	50,000	千円	176,543	千円
	県補助金	120,000	千円	119,336	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	176	千円	56,488	千円
	一般財源	50,000	千円	176,543	千円
	事業費	220,176	千円	528,910	千円

評価

事務事業評価

成果・課題 Check	（取組成果）
	令和5年3月に事業認可取得し、令和6年1月に第1回事業計画変更認可を取得した。また、令和6年3月に施工区域の約6割を仮換地指定を行い、同年4月より一部街区において造成工事を行っている。同時並行で、各権利者との補償交渉も行っている状況である。
	（今後の課題）
	建物移転が必要な権利者もいるため、権利者との合意形成が非常に重要となる。

改善内容 Action	戸別訪問を行い、合意形成を図っていく。	事業の方向性	資源配分	
		現状維持	財源	現状維持
			人員	現状維持

改善　　方向性

実施計画

成果指標	令和7年度 目標値	令和8年度 目標値	令和9年度 目標値
居住人口の市全体に対する割合（中心市街地地区）	1.4%	1.4%	1.5%

事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	109,289	千円	25,000	千円	2,668	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	88,000	千円	300,000	千円	350,000	千円
	一般財源	76,806	千円	55,789	千円	13,551	千円
	事業費	306,578	千円	350,000	千円	355,336	千円

総合戦略	地方移住の推進	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	青井地区、中心市街地地区の区画整理による再開発を進めます。	

戦略名	戦略5　都市基盤・建設　まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(5)未来型復興による魅力的なまちづくり

事務事業名	地区計画		担当課	市街地復興課
事務事業概要	建物の建て方や街並みのルール等を住民が主体となって地区レベルで定めることができる計画			
主な取組内容 Plan	既存	青井復興まちづくり推進協議会	既存	中心市街地復興まちづくり推進協議会
	既存	下青井町座談会		

事務事業実績

成果指標	目標値	令和5年度 実績値	令和6年度 目標値
居住人口の市全体に対する割合（青井地区）	1.60%	1.4%	1.4%
居住人口の市全体に対する割合（中心市街地地区）	1.40%	1.2%	1.2%

事業財源 Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	0	千円	0	千円
	事業費	0	千円	0	千円

評価

事務事業評価

成果・課題 Check	（取組成果） 令和5年度は、両地区において復興まちづくり推進協議会を定期的に開催し、復興まちづくり計画に掲げる街の将来像の具現化に向けた検討を行っている。 また、青井地区においては、整備される（仮称）西部公園や国道445号沿いの街並みの方針について座談会を行った。
	（今後の課題） ハード事業の検討は行っているものの、まちづくりルール等の検討までは至っていない。また、中心市街地地区においては座談会等を行えていない状況である。

改善内容 Action	青井地区においては、引き続き座談会を開催し地区計画に繋がるような検討を行っていく。 中心市街地地区においては、座談会等が開催できるよう検討していく。	事業の方向性	資源配分	
		現状維持	財源	現状維持
			人員	現状維持

改善　　方向性

実施計画

成果指標	令和7年度 目標値	令和8年度 目標値	令和9年度 目標値
居住人口の市全体に対する割合（青井地区）	1.4%	1.4%	1.5%
居住人口の市全体に対する割合（中心市街地地区）	1.2%	1.2%	1.2%

事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	0	千円	0	千円	0	千円
	事業費	0	千円	0	千円	0	千円

総合戦略	魅力的な生活圏の形成	
市長マニフェスト	人吉らしさを前面に出した統一化されたまちなみ景観の創出を図ります。	

戦略名	戦略5　都市基盤・建設　まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(5)未来型復興による魅力的なまちづくり

事務事業名	都市再生整備計画事業	担当課	市街地復興課
事務事業概要	被災市街地復興推進地域内において、「人吉市立地適正化計画」に基づき、都市機能や居住環境の向上に資する道路や公園、複合施設等の誘導・整備、防災力強化、居住の誘導の取組等を行い、持続可能で強靭な都市構造へ再編を図るための事業		
主な取組内容 Plan	新規	青井地区	

事務事業実績

成果指標	目標値	令和5年度 実績値	令和6年度 目標値
居住人口の市全体に対する割合（青井地区）	1.60%	1.40%	1.40%

事業財源 Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	19,200	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	0	千円	19,200	千円
	事業費	0	千円	38,400	千円

評価

事務事業評価

成果・課題 Check	（取組成果）
	令和5年度に、青井地区・中心市街地地区の被災市街地復興推進地域内外において事業や区域の検討を行い、令和5年3月に計画策定し公表を行った。令和6年度からは本格的に事業を進めており、両地区の土地区画整理事業の工事概成（令和8年度中）までには工事の実施を行う予定としている。 青井地区においては、青井神社周辺の道路の高質化の設計及び（仮）西部公園の設計を行っている。
	（今後の課題）
	青井神社周辺の整備については、国のかわまちづくり事業及び熊本県事業との協議や、復興デザイン会議での検討など連携調整が必要になる。 また、用地買収等もあるため用地交渉等により事業規模や進捗に大きく影響してくる。

改善内容 Action	復興デザイン会議に向け、関係機関との定期的な協議を行い進めていく。	事業の方向性	資源配分	
		現状維持	財源	現状維持
			人員	現状維持

改善　　方向性

実施計画

成果指標	令和7年度 目標値	令和8年度 目標値	令和9年度 目標値
居住人口の市全体に対する割合（青井地区）	1.40%	1.40%	1.50%

事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	51,525	千円	248,092	千円	76,875	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	51,525	千円	248,092	千円	76,875	千円
	事業費	103,050	千円	496,184	千円	153,750	千円

総合戦略		
	地方移住の推進	若者の地元修学・就業の促進
	魅力的な生活圏の形成	
市長マニフェスト	かわまちづくり事業による球磨川と共に生きるまちの実現を目指します。	

戦略名	戦略5　都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(5)未来型復興による魅力的なまちづくり	

事務事業名	都市再生整備計画事業	担当課	市街地復興課
事務事業概要	被災市街地復興推進地域内において、「人吉市立地適正化計画」に基づき、都市機能や居住環境の向上に資する道路や公園、複合施設等の誘導・整備、防災力強化、居住の誘導の取組等を行い、持続可能で強靭な都市構造へ再編を図るための事業		
主な取組内容 Plan	新規	中心市街地地区	

事務事業実績

成果指標	目標値	令和5年度 実績値	令和6年度 目標値
居住人口の市全体に対する割合（中心市街地地区）	1.40%	1.20%	1.20%

事業財源 Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	87,800	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	0	千円	87,800	千円
	事業費	0	千円	175,600	千円

評価

事務事業評価

成果・課題 Check	（取組成果）
	令和5年度に、青井地区・中心市街地地区の被災市街地復興推進地域内外において事業や区域の検討を行い、令和5年3月に計画策定し公表を行った。令和6年度からは本格的に事業を進めており、両地区の土地区画整理事業の工事概成（令和8年度中）までには工事の実施を行う予定としている。 令和6年度は、うぐいす温泉周辺街区を中心とした委託業務を発注し、今後の公共空間の利活用や運営等について検討を行っている。
	（今後の課題）
	今年度より、本市において復興デザイン会議が発足し市全体のグランドデザインの検討を専門家を含め検討していくこととなるので、復興デザイン会議との連携が非常に重要となる。 また、うぐいす温泉街区周辺の権利者や事業者との連携も非常に重要になってくる。

改善内容 Action	事業の方向性	資源配分	
権利者や事業者等については個別ヒアリングや説明会等を通じて計画の共有を図っていく。	現状維持	財源	現状維持
		人員	現状維持

改善　　方向性

実施計画

成果指標	令和7年度 目標値	令和8年度 目標値	令和9年度 目標値
居住人口の市全体に対する割合（中心市街地地区）	1.20%	1.20%	1.20%

事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	59,875	千円	46,125	千円	89,492	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	64,875	千円	46,125	千円	89,493	千円
	事業費	124,750	千円	92,250	千円	178,985	千円

総合戦略		
	地方移住の推進	若者の地元修学・就業の促進
	魅力的な生活圏の形成	
市長マニフェスト	”つい歩きたくなる街”をコンセプト(基本的構想)としたまちなかの空地と小路を繋ぐ空間整備を進めます。	

戦略名	戦略5　都市基盤・建設　まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(5)未来型復興による魅力的なまちづくり

事務事業名	都市防災総合推進事業	担当課	市街地復興課
事務事業概要	市街地の防災力の向上と被災市街地復興推進地域の早期復興を図るために、避難路等の公共施設を整備する事業		
主な取組内容 Plan	既存　青井地区		

事務事業実績

成果指標	目標値	令和5年度 実績値	令和6年度 目標値
避難路整備事業進捗状況（改良率）	18.5%	0%	0.84%

事業財源 Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	19,805	千円	25,251	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	19,806	千円	25,251	千円
	事業費	39,611	千円	50,502	千円

評価

事務事業評価

成果・課題 Check	（取組成果） 令和5年度より詳細設計及び用地測量等を行った。令和6年度については、一部路線について用地や補償交渉を行った。
	（今後の課題） 用地取得については、地権者との合意形成が必要となるため、用地取得に難航している。

改善内容 Action	地権者に事業の必要性を理解していただくように戸別訪問を繰り返し行う。	事業の方向性	資源配分	
		現状維持	財源	現状維持
			人員	現状維持

改善　　方向性

実施計画

成果指標	令和7年度 目標値	令和8年度 目標値	令和9年度 目標値
避難路整備事業進捗状況（改良率）	7.17%	11.25%	18.5%

事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	154,910	千円	21,500	千円	5,000	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	154,910	千円	21,500	千円	5,000	千円
	事業費	309,820	千円	43,000	千円	10,000	千円

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	豪雨災害の経験等を生かした早期避難対策として、避難路、避難場所等の整備、拡充を進めます。

戦略名	戦略5　都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(5)未来型復興による魅力的なまちづくり	

事務事業名	都市防災総合推進事業	担当課	市街地復興課
事務事業概要	市街地の防災力の向上と被災市街地復興推進地域の早期復興を図るために、避難路等の公共施設を整備する事業		
主な取組内容 Plan	既存　中心市街地地区		

事務事業実績

成果指標	目標値	令和5年度 実績値	令和6年度 目標値
避難路整備事業進捗状況（改良率）	18.5%	0%	0.84%

事業財源 Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	5,120	千円	41,619	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	5,121	千円	41,620	千円
	事業費	10,241	千円	83,239	千円

評価

事務事業評価

成果・課題 Check	（取組成果）
	令和5年度より詳細設計及び用地測量等を行った。令和6年度については、一部路線について用地や補償交渉を行った。
	（今後の課題）
	用地取得については、地権者との合意形成が必要となるため、用地取得に難航する可能性がある。 熊本県施行の山田川広域河川改修事業との連携が必要となってくる。

改善内容 Action	事業の方向性	資源配分	
地権者に事業の必要性を理解していただくように戸別訪問を繰り返し行う。 熊本県と密に連携を行う。	現状維持	財源	現状維持
		人員	現状維持

改善　　方向性

実施計画

成果指標	令和7年度 目標値	令和8年度 目標値	令和9年度 目標値
避難路整備事業進捗状況（改良率）	7.17%	11.25%	18.5%

事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	237,074	千円	5,000	千円	7,500	千円
	県補助金	266,700	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	237,074	千円	5,000	千円	7,500	千円
	事業費	740,848	千円	10,000	千円	15,000	千円

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	豪雨災害の経験等を生かした早期避難対策として、避難路、避難場所等の整備、拡充を進めます。

戦略名	戦略5　都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(5)未来型復興による魅力的なまちづくり	

事務事業名	鍛冶屋町通り街なみ環境整備事業	担当課	都市計画課
事務事業概要	鍛冶屋町通りの昔の風情を生かして、住民と一緒に景観整備を進め、魅力ある賑わいの街を創り出す事業		
主な取組内容 Plan	既存	鍛冶屋町街なみ環境整備事業	

事務事業実績

成果指標	目標値	令和5年度 実績値	令和6年度 目標値
景観計画に基づく届出件数	350件	169件	189件

事業財源 Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	1,000	千円	1,000	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	1,000	千円	1,000	千円
	事業費	2,000	千円	2,000	千円

評価

事務事業評価

成果・課題 Check	
	(取組成果) 令和5年度までに、通路整備70m・小公園整備400m2・案内板設置9基・修景施設19棟の事業を行い、鍛冶屋町の魅力を高め住環境が向上した。
	(今後の課題) 住民の方に街なみ環境整備事業の必要性を訴え、今後も民間の修景事業を行っていきたい。

改善内容 Action	特になし。	事業の方向性	資源配分	
		現状維持	財源	現状維持
			人員	現状維持

改善　　方向性

実施計画

成果指標	令和7年度 目標値	令和8年度 目標値	令和9年度 目標値
景観計画に基づく届出件数	230件	290件	350件

事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	1,000	千円	1,000	千円	1,000	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	1,000	千円	1,000	千円	1,000	千円
	事業費	2,000	千円	2,000	千円	2,000	千円

総合戦略	魅力的な生活圏の形成	地域間連携による魅力的な地域圏の形成
市長マニフェスト	人吉らしさを前面に出した統一化されたまちなみ景観の創出を図ります。	